

愛知県スポーツ推進計画について

1 愛知県スポーツ推進計画 2023-2027

【計画期間】2023年度から2027年度までの5年間

【基本施策】

I 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出

- ① スポーツ人口の裾野拡大 資料3、資料4-9
- ② 障害者スポーツの推進 資料5-8
- ③ 地域のスポーツ環境の充実 資料4-6、7、10

II 子どものスポーツ活動の充実

- ① 児童生徒の体力向上 資料8
- ② 学校体育・スポーツの充実 資料8
- ③ 多様なニーズに応じた運動部活動の推進 資料9

III トップアスリートの育成、活躍支援

- ① トップアスリート・パラアスリートの発掘・育成 資料4-1
- ② トップアスリート・パラアスリートの強化・活用 資料4-1、2、5
- ③ 国民スポーツ大会への選手派遣等 資料4-3、4

IV アジア・アジアパラ競技大会の開催、レガシー創出 資料6

- ① 開催に向けた取組・機運の醸成
- ② 大会を活用した地域活性化
- ③ 共生社会の実現への貢献

V スポーツによる地域活性化

- ① 全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成 資料3-2、3
- ② スポーツの成長産業化 資料3-4、資料5
- ③ スポーツチームとの連携・協働 資料3-1

※ 資料〇は各項目に関連する取組資料

2 次期計画の策定スケジュール

○現行計画が2027年度に終期を迎えるため、国が2026年度中に策定する第4期スポーツ基本計画を踏まえ、2027年度中に策定する。

○計画の策定は来年度からの2か年で行い、来年度は、有識者会議を設置したうえで、基礎調査となる県民アンケートや有識者等ヒアリングを実施し、スポーツに関する県民の意識、行政に対する期待、現場における課題等を調査・分析する。

【スケジュール（予定）】

実施時期	2026年度												2027年度															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
主な実施内容	有識者会議の設置	県民アンケート項目検討					競技大会・アジアパラ	県民アンケート					審議会（諮問）	策定委員会設置	策定委員会における検討					審議会（骨子案）	コバメンリック	策定委員会における検討					審議会（答申）	計画策定
		有識者ヒアリング項目検討						有識者ヒアリング							策定委員会における検討							策定委員会における検討						

「愛知県スポーツ推進計画2023-2027」に係る各指標の進捗管理表

項目	現状値 (プラン策定時) (時点)	目標値 (時点)	各年度の現状値			
			2023年度	2024年度	2025年度 (2025年12月末現在)	
成果達成目標						
週1回以上のスポーツ実施率	成人	56.3% (2021.12)	70.0% (2026.12予定)	-	-	-
	障害者	23.0% (2021.12)	40.0% (2026.12予定)	-	-	-
国際大会に出場する本県ゆかりの競技者数		198人 (2018～2022年度累計)	300人 (2023～2027年度累計)	79人	148人	148人 (累計)
県が主催するスポーツ大会へのエントリー数、観戦者数	エントリー数	29,317人 (直近大会実績)	165,000人 (2023～2027年度累計)	29,464人	63,349人	63,868人 (累計)
	観戦者数	223,203人 (直近大会実績)	3,660,000人 (2023～2027年度累計)	714,216人	1,448,185人	1,978,785人 (累計)

「愛知県スポーツ推進計画2023-2027」に係る各指標の進捗管理表

項目	現状値 (プラン策定時) (時点)	目標値 (時点)	各年度の現状値			
			2023年度	2024年度	2025年度 (2025年12月末現在)	
I 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出						
県内スポーツ情報を発信するウェブサイトのアクセス件数(年間)	251,000件 (2021年度)	300,000件 (毎年度)	394,462件	449,332件	388,583件	
あいちスポーツコミッションのSNSのフォロワー数	5,363人 (2021年度)	10,000人 (2027年度)	9,831人	12,017人	14,320人	
子育て世代(30代、40代)週1回以上のスポーツ実施率	30代男性	55.4% (2021年度)	68.7% (2026.12予定)	-	-	-
	30代女性	47.7% (2021年度)	59.1% (2026.12予定)	-	-	-
	40代男性	53.6% (2021年度)	66.5% (2026.12予定)	-	-	-
	40代女性	40.6% (2021年度)	50.3% (2026.12予定)	-	-	-
県が主催するスポーツ大会に参加するボランティア数	5,304人 (直近大会実績)	30,000人 (2023~2027年度累計)	12,198人	22,266人	24,242人 (累計)	
県(スポーツ分野)におけるSDGsの周知・取組件数	7件 (2022.12)	50件 (毎年度)	58件	94件	63件	
あいちパラスポーツサポーターの養成人数	103人 (2022年度)	120人 (毎年度)	144人	145人	127人	
愛知県障害者スポーツ大会出場者数	591人 (2022年度)	600人 (毎年度)	707人	620人	690人	
総合型地域スポーツクラブで実施する障害者スポーツプログラムの参加者数	156人 (2022年度)	150人 (毎年度)	230人	122人	212人	
障害者スポーツ参加促進事業の参加人数	352人 (2021年度)	500人 (毎年度)	471人	461人	253人	
県所管のスポーツ施設の利用人員	974,525人 (2021年度)	1,422,000人 (毎年度)	1,516,741人	1,398,251人	348,050人	
県内総合型地域スポーツクラブの新設スクール等の加入会員数	- (2023事業開始)	1,000人 (2027年度)	235人	500人	755人	
「登録・認証制度」における登録クラブの数	- (2023事業開始)	100 (2027年度)	23団体	25団体	26団体	

「愛知県スポーツ推進計画2023-2027」に係る各指標の進捗管理表

項目	現況値 (プラン策定時) (時点)	目標値 (時点)	各年度の現況値			
			2023年度	2024年度	2025年度 (2025年12月末現在)	
Ⅱ 子どものスポーツ活動の充実						
新体力テストの総合評価がC以上である児童・生徒の割合	児童	小5男子56.5% 小5女子64.2% (2022.12)	80.0%以上 (2027年度)	61.2%	62.2%	63.6%
	生徒	中2男子59.0% 中2女子76.9% (2022.12)	85.0%以上 (2027年度)	68.1%	71.4%	72.1%
1週間の総運動時間(体育授業を除く)が60分未満の児童・生徒の割合	児童	小5男子9.4% 小5女子15.9% (2022.12)	5.0%以下 (2027年度)	14.4%	14.3%	15.5%
	生徒	中2男子8.6% 中2女子18.0% (2022.12)	7.0%以下 (2027年度)	17.3%	13.9%	14.4%
小学校における新たな体力向上運動プログラムの活用状況		- (2022事業開始)	100% (2025年度)	60.2%	61.7%	56.5%
卒業後も運動・スポーツをしたいと思う(「思う」「やや思う」の合計)児童・生徒の割合	児童	小5男子87.5% 小5女子83.3% (2022.12)	90.0%以上 (2027年度)	85.0%	85.0%	82.3%
	生徒	中2男子84.6% 中2女子77.3% (2022.12)	85.0%以上 (2027年度)	80.3%	81.2%	81.1%
運動やスポーツをすることが好き(「好き」「やや好き」の合計)な児童・生徒の割合	児童	小5男子91.7% 小5女子85.1% (2022.12)	5.0%増加 (2027年度)	0.2%減少 (88.3%)	0.4%増加 (88.8%)	0.2%増加 (88.6%)
	生徒	中2男子88.2% 中2女子76.5% (2022.12)	5.0%増加 (2027年度)	0.5%減少 (82%)	0.4%増加 (82.8%)	0.9%増加 (83.3%)
運動部活動における外部指導者の活用数	部活動総合指導員 (県立高校)	36人/ 149校 (2022.12)	全校配置 (2027年度)	36人	36人	36人
	部活動指導員 配置事業費補助	13市 (2022年度)	40市町村以上 (2027年度)	17市町	20市町	22市町

「愛知県スポーツ推進計画2023-2027」に係る各指標の進捗管理表

項目	現状値 (プラン策定時) (時点)	目標値 (時点)	各年度の現状値		
			2023年度	2024年度	2025年度 (2025年12月末現在)
Ⅲ トップアスリートの育成、活躍支援					
あいちトップアスリートアカデミーに係る選考会への参加者数	1,127人 (2022年度)	1,140人 (毎年度)	1,017人	783人	668人
あいちトップアスリートアカデミー（アカデミー生、修了生）から全国大会、東海大会へ出場する人数	17人 キッズ・ジュニア・ユース 15人 パラアスリート 2人 (2019～2022.10)	20人 (2027年度)	23人	61人	95人
あいちトップアスリートアカデミーにおけるトップアスリートやトップコーチの活用件数	14件 (2019～2021)	70件 (2023～2027年度累計)	30件	55件	75件 (累計)
国民体育(スポーツ)大会本大会における出場種目数	60種目 (2022年大会)	68種目以上 (毎年度)	56種目	65種目	72種目
国際・上級審判員や公認クラシファイヤー等の競技運営人材の強化育成に取り組む団体数	- (2023事業開始)	35団体 (2027年度)	9団体	18団体	32団体
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者数	9,079人 (2022.10)	11,985人 (2025年度)	10,232人	11,381人	12,135人
「スポーツ団体ガバナンスコード」(スポーツ庁)の遵守を公表する県内の競技団体数	2団体 (2023.2)	56団体 (2025年度)	25団体	41団体	44団体

「愛知県スポーツ推進計画2023-2027」に係る各指標の進捗管理表

項目	現状値 (プラン策定時) (時点)	目標値 (時点)	各年度の現状値		
			2023年度	2024年度	2025年度 (2025年12月末現在)
IVアジア・アジアパラ競技大会の開催、レガシー創出					
県内における新たな国際スポーツ大会の開催決定数	1件 (地域活性化ビジョン策定時からの累計)	10件 (2019～2030年度累計)	4件	5件	10件 (累計)
国際・上級審判員や公認クラシファイヤー等の競技運営人材の強化育成に取り組む団体数(再掲)	- (2023事業開始)	35団体 (2027年度)	9団体	18団体	32団体
アジア競技大会・アジアパラ競技大会に参加するボランティア数	- (2024事業開始)	40,000人 (2024～2026年度累計)	-	6,983人	26,096人 (累計)
県内におけるブース出展等イベントの開催数	34件 (2022.12)	140件 (2023～2027年度累計)	34件	66件	121件 (累計)
「第20回アジア競技大会 2026/愛知・名古屋・第5回アジアパラ競技大会」に関連したアジア各国との交流件数	16件 (地域活性化ビジョン策定時からの累計)	200件 (2019～2030年度累計)	27件	31件	89件 (累計)
パラスポーツに関連したイベントへの参加者数	- (2024以降事業開始)	100,000人 (2024～2030年度累計)	462人	1,077人	5,077人 (累計)

「愛知県スポーツ推進計画2023-2027」に係る各指標の進捗管理表

項目	現状値 (プラン策定時) (時点)	目標値 (時点)	各年度の現状値		
			2023年度	2024年度	2025年度 (2025年12月末現在)
Vスポーツによる地域活性化					
県が主催するスポーツ大会への県外・海外からのエントリー数	13,244人 (直近大会実績)	78,400人 (2023～2027年度累計)	12,771人	24,801人	25,320人 (累計)
県内における新たな国際スポーツ大会の開催決定数【再掲】	1件 (地域活性化ビジョン策定時からの累計)	10件 (2019～2030年度累計)	4件	5件	10件 (累計)
観光レクリエーション資源・施設利用者数(スポーツ・レクリエーション)	23,817,501人 (2021年度)	132,000,000人 (2023～2027年度累計)	28,680,129人	26,681,053人	-
スポーツオープンイノベーションに関する取組に参画する、あいちスポーツコミッション加入団体数	4団体 (2022年度)	20団体 (2027年度)	6団体	68団体	79団体
スポーツイベント等におけるあいちスポーツコミッションとプロスポーツチーム等の連携取組数	9件 (2021年度)	80件 (2023～2027年度累計)	28件	52件	84件 (累計)
この1年間にスポーツ観覧・観戦を行った県民の割合	16.0% (2021年度)	25% (2026年度)	-	-	-

スポーツ基本法の一部改正について

1 改正の概要

(1) 公布日

2025年6月20日

(2) 趣旨

- ・スポーツ基本法制定から14年が経過し、スポーツを取り巻く環境が大きく変化した。
- ・スポーツを通じた社会課題の解決に期待が高まっている現状に対応する。
- ・ウェルビーイングといった多様な国民一人一人の生きがい及び幸福の実現を図るため。

2 改正の主なポイント

(1) スポーツの価値の再定義

- スポーツの果たす役割「する」「見る」「支える」に加え、「集まる」「つながる」を前文に明記。
- 多様な国民一人一人が生きがいを持ち幸福を享受できるようにすること、豊かさを実感できる社会の実現を図ることを前文及び基本理念に明記。
- 幸福の享受及び豊かさを実感できる社会の実現のため、スポーツと文化芸術等の他の分野が連携することを前文に明記。

(2) 共生社会の実現

- 全ての国民がスポーツに親しむことのできる機会等について、人種、性別、年齢、障害の有無にかかわらず、確保されなければならないことが、前文や基本理念等に明記。
- 障害者をはじめとする全ての国民が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、必要な配慮をすることを基本理念に明記。

(3) スポーツによる地域振興

- スポーツは、地域の人々の交流促進により、地域振興に資するよう推進されなければならないことを基本理念に明記。

(4) スポーツの公正及び公平の確保

- 国及び地方公共団体は、暴力、性的な言動（盗撮等を含む）やインターネット上の誹謗中傷等によりスポーツを行う者の環境が害されることのないよう必要な措置を講じることを新たに明記（スポーツ団体は努力義務）。
- 国は、ドーピングの防止活動を実施するため、（公財）日本アンチ・ドーピング機構以外の関係機関とも連携を図ることを新たに明記。